



## 「心の体力」を付けよう

今年の夏は、酷暑に豪雨や台風と異常気象が続きました。そのような中でも、39日間の休みを終え、各教室から子どもたちの朗らかな声が聞こえてきました。子どもたちの顔を見ると、随分とたくましくなったなと感じました。

1学期終業式に、長い夏休みを利用して何か一つがんばり続けられるものに取り組みましょうと話しました。夏のプールに通って級が上がった子、毎日勉強する時間を決めて取り組んだ子、観察や日記をやり続けた子、ラジオ体操に通い続けた子などなど。自分の決めたことに取り組み、やり遂げた充実感を感じていることでしょう。日常の中でどんな小さなことでもやり続けるということが、「心の体力」を付けていく、遠回りのようで一番の近道です。



この夏、全国高校野球選手権大会など全国各地で様々な世代のスポーツ大会が開催され、また、現在も行われているアジア大会と、競技や試合におけるチームワーク、スポーツマンシップ、挑戦する力、あきらめない心、努力等に感動し魅了されました。また、考えることが多くありました。



その一つが、時として試合を終えた選手らが話す「最後の最後まであきらめませんでした」「苦手な走り込みを続けた結果です」といった、負けそうになる自分の心との葛藤を乗り越え、やり通すことができたことへの自負心です。

このことは、上記に書いたことと通じるものがあり、1学期中、何回となく子どもたちに伝えてきたことの一つです。大人でもそうですが、苦手なこと、面倒なことは避けたいと思います。子どもならなおのことです。でも、それを少しでも頑張ってみよう、挑戦してみようと思えるかどうか、何事においても始めるきっかけとなり、自分の力として身に付いてきます。子どもたちが、やってみようとして一歩を踏み出せるよう周りの大人が応援していくことが大切となります。今後ともご協力の程、よろしくお願ひいたします。

実り多い2学期になりますよう、保護者・地域の皆様と車の両輪のように力を合わせてまいりたいと思います。

## スクールゾーン車両通行自粛呼びかけ重点運動ご協力のお願い

今回は、秋の交通安全運動期間に合わせて9月25日（火）～9月28日（金）に設定させていただきました。ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

## 教職員の異動について

（転出・退職）育代養護教諭 小笹 祥子（9月1日～三鷹市立大沢台小学校へ）  
市事務 佐藤 直子（市内東小学校へ）  
図書支援員 川田 名穂（退職）

～お世話になりました～

（転入・新規採用等）

養護教諭 土屋 翔子（育休から復帰）  
市事務 河村 比呂子（市内拝島一小より）  
図書支援員 谷松 眞佐子（新規採用）

～よろしくお願ひします～